

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                            |    |             |
|----------------|----------------------------|----|-------------|
| ○事業所名          | 児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO阿倍野校 |    |             |
| ○保護者評価実施期間     | 2026年 2月 4日                | ～  | 2026年 2月18日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 66 | (回答者数) 16   |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年 2月 4日                | ～  | 2026年 2月18日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 6  | (回答者数) 6    |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 2月 4日                |    |             |

## ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                             | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                      |
|---|--|--|-------------------------------------|
| 1 | 原始反射の統合を基本として 運動療育を行っている。  | 毎月、定期的な研修を行っている<br>研修内容は、反射についての知識やそれに伴う運動の方法など実践で行っています。                        | 研修は、全体で行いながらスタッフが実際の動きも行う場面を作る。     |
| 2 | スタッフ一人一人が自分の役割を理解しながら仕事に従事している。仕事の内容が他施設からの応援等が来ていただいた時にもわかりやすく表示が出来る。 | 不意な欠勤とが出たときは出来る限りスタッフ間で協力しながら解決をしています。スタッフ間で共有することは、LINEや日報等で伝え漏れが無いように確認合っています。 | 利用者のモニタリングなどの状況等を共有する為 紙媒体でも確認していく。 |
| 3 | 支援内容についての相談を全体で行いながらより良いセッションに繋げている。                                   | 他施設での療育や参考になる資料をとりいれている。   | ファイルで整理しながら分かりやすい資料を作る。             |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること              | 事業所として考えている課題の要因等                             | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                    |
|---|---|---|---|
| 1 | 異年齢の集団になる為 年齢を精査しながら支援の曜日や時間を決めていく。                     | 異年齢の利用者のニーズに合わせて運動の方法などを変えていく。                | 異年齢の利用者が違う意味での集団を経験していくいい機会だと思うのでペアマッチなどを取り入れ関わりを学んでいく。 |
| 2 | 保護者様との関わりがフィードバックが主になるのでご家庭での困りごとが伝わりにくい。               | 短時間で利用時のお話をしています。後は、利用時の様子を写真にしてLINE等で提供している。 | 6か月のモニタリング以外でも相談事等がある時はお話の場所を提供していく。                    |
| 3 | 利用者の方が不穏になったりしたときに落ち着く場所の提供が完全に個室とはならないため利用時の対応が困る時がある。 | 簡易カーテンで間仕切りをしています。                            | トイレに行く利用者等が目に入ることがあるので環境を整えるようにしていく。                    |